

庄内協同ファームだより

No.153 2014年10月号



発行/

〒999-7631 山形県鶴岡市八色木字西野338

tel.0235-78-2120 fax.0235-78-2140

<http://www.shonaifarm.com>



庄内名物「芋煮」と「豆ごはん」

9月中旬になり、朝晩は涼しいというより寒いくらいに感じるようになりました。

今年も昨年以上の異常気象が各地で報道されています。特に今年はゲリラ豪雨による被害が全国各地に発生していますが、幸いにも私達の地域はこれといった災害もなく順調に経過してきました。

今、私達は、収穫の時期を迎えるため慌ただしくその準備に追われています。

協同ファームでは9月10日に圃場巡回と米部会があり、生産者の圃場で刈り取り時期の確認や、今後の出荷に向けての話し合いなどをしました。去年から役割上の会議や

行事の関係で参加できないでいました。

今年も久しぶりに参加し、みんなの農業への意気込みを感じる事が出来ました。

9月12日にJA米の概算金の提示があり、農家に衝撃を与えています。昨年

年も下がった概算金がさらに大きく引き下げられました。ガソリン・軽油・灯油など燃料や、肥料・資材等の値上がり、消費税のアップで経費も大幅な上昇の中での引き下げは農家にとって大きな負担となり、今後大きな影響をあたえると思います。

その為、今後の米作りはどうなるのか、農業を続けていくのか多くの不安を抱えながらの収穫作業となります。本来なら収穫の喜びが溢れる明るい季節であるに関わらず、なんとなく沈んだ季節となりそうです。

それでも、私達には多くの人達に支えられた庄内協同ファームがあり、農産物や加工品の生産・製造してきました。これからも、消費者の皆様に安心、安全そして美味しい農産物・加工製品を届けて行きたいと思っています。これまでの関わりに感謝し、これからも宜しくお願い致します。



野口吉男

力を合わせて有機農業を進めよう

ーやまがた有機農業推進コンソーシアムについてー

山形県農業総合研究センター水田農業試験場 主任専門研究員 安藤 正

現在、山形県内で有機農業を推進するための取り組みがおこなわれています。有機農業者、実需者、農業団体、研究機関、行政機関などが一緒になって「やまがた有機農業推進コンソーシアム」というグループをつくり、新品種・新技術などの普及による有機栽培米の拡大とブランド化を進めようとするものです。山形県有機農業者協議会が主体となり、その構成員である庄内協同ファームとおきたま興農舎でほ場試験などを実施しています。

有機栽培に適した新品種の取り組みとしては、山形県育成の「山形95号」を取り上げています。収量性に優れ、いもち病に強いことが特徴です。特別栽培で作付されているひとめぼれなどに代わる品種として活躍が期待される品種です。この品種が有機栽培でどのように生育するか調査しています。また、このお米を食べてもらってアンケート調査などを行う予定です。

栽培技術面では雑草対策に取り組んでいます。除草は通常人力で除草機を押すので体に堪える仕事です。乗用除草機などの導入で除草作業の労力を軽減できないか、現場の実情に

合わせながら作業を組み立てて、除草効果の検討を行っています。

消費者の食に対する関心がますます高まる中、有機農業の取り組みは一層重要になります。そのためには解決すべき課題も残っています。地域の関係者で力を合わせてそれらを解決し、有機農業の推進を通して活力ある農業農村づくりを実現していきたいと思います。



乗用除草機の作業風景

9月11日

米部会圃場巡回

高橋 直之

気持ちの良い秋晴れの中、黄金色に実った田んぼを、組合員みんなで巡回しました。今年は春から好天が続き、長雨も、大きな



天候被害もなく順調に育ちました。出穂頃にぐずついた天気が続いたので、日照不足で稲の実寄りに影響が出るのでは?!と心配していましたが、組合員のみなさんの田んぼを見るたびに、立派に育った稲を目の当たりにして、今年は間違いなく豊作だ!!と確信しました。

そして、我が家の田んぼには一番草が生い茂っており・・・(汗)。皆さんの立派な田んぼを見て、来年はもっと頑張るぞ!と心に誓いました。

圃場から戻り、普及センターの安藤指導員さんより、今年の稲の生育状況、刈り取り適期などの指導を受けました。

そして、懇親会。みなさんが健康で事故無く、豊作の稲刈り作業が出来ますことを願って乾杯しました。秋は米作りのクライマックス!稲刈りシーズンに突入します。刈り取り、乾燥調整、出荷、米検査と、めまぐるしい時期になります。稲が全部刈り終わる10月下旬には、田んぼに冬の使者白鳥が舞い降りてきます。

春から手塩にかけて育てたお米を、皆さまの食卓へお届けできるよう稲刈り作業頑張りますので、どうぞ今年の新米、ご期待くださいね!



庄内協同ファームのお米

ぜひ、庄内協同ファームのお米をよろしくお願いします。

秋の味覚の食べ物は色々あれども、やはり主食たる米が第一番に上がるのではないのでしょうか。最近では米離れが囁かれています。炊飯器の進化やネットでの土鍋による炊き方レシピ等もあったりして、炊き方で美味しさが格段に変わるといっても認知されてきました。

秋は収穫の季節であり、米以外にも色々な味覚があります。魚なら秋刀魚に鮭、野菜ならマツタケやサツマイモ、果物なら梨に栗、それらを用いた料理たち。食欲の秋とはよくいったものです。その秋の味覚たちといっしょに庄内協同ファームのお米で作ったご飯を食べていただければ、また格別の食事となることと思います。



庄内協同ファームのお餅

新米の季節になりましたが、いっしょにお餅の方もいかがでしょうか。

商品が出揃うのは11月以降になりそうですが、定番の切り餅やこちら山形庄内地方での定番の丸餅、また黒豆の入ったほんのり塩味の黒豆餅、緑色が鮮やかなよもぎもち等豊富に取り揃えております。

これから、秋冬とだんだん

寒くなってきました。鍋料理やおでんの巾着の具として入れてみたり、スタンダードに磯辺巻き、あんこもちとして調理する際は、ぜひとも庄内協同ファームのおもちをお試しください。滑らかさとコシが自慢のおもちです。きつとご満足していただけるものと思います。



イベント開催ご案内

今年も下記の通り庄内協同ファームのメンバーが出展します。消費者の皆さんと会える数少ない機会に私達はとても楽しみにしております。

当日、試食販売を行います。価格は各会場にてお知らせしますが、お祭り価格でお待ちしております。

お時間がありましたらぜひお越しください。

10月19日	10:00~16:00	東京都品川区東八潮1-2	潮風公園・太陽の広場
10月25日	10:00~14:00	千葉県千葉市美浜1番地	QVCマリンフィールド外広場
10月26日	10:00~15:00	宮城県仙台市若林区卸町2-15-2	仙台市卸商センター産業見本市会館サンフェスタ1階
10月26日	10:00~15:00	千葉県野田市鶴奉5-1	野田市文化会館
11月 3日	10:00~15:00	山形市平久保100	山形ビッグウイング(山形交流プラザ)1階 展示場1
11月 8日	10:00~14:00	京王相模原線 南大沢駅前	南大沢中郷公園
11月22日	10:00~14:00	栃木県小山市外城371-1	小山市総合公園 第3駐車場
11月30日	10:00~14:00	福島県郡山市南2丁目	ビックパレットふくしま多目的展示ホール A

ペンリレー 徒然草

五十嵐 勇輝

―異常気象に思う―



先日、夜中に電（ひょう）が降りました。その数時間前には、東京でもゲリラ豪雨で新小岩駅が浸水したり、

他にも冠水や竜巻のニュースがいくつもありました。夜が明けて、今度は北海道で大雨特別警報が発表され、札幌では避難勧告が出されるなど日本各地で様々な被害があつたと聞きます。

夜中に雷と共に降ってきた電は、ものすごい勢いで屋根をたたきました。風も相当に強かったと思います。朝になると、庭の日陰には直径約1センチの電が溶け

ずに残っていました。稲は倒され、電に打たれた穂は地面に散乱していて、葉物作物にハチの巣状に開いた穴が電が降ったことを証明していました。不思議だったのは、これがごく狭い範囲での出来事だったということです。僅か数百メートルしか離れていないところでは全く跡形がなかったり、そもそも電が降ったことすら知りませんでした。

因みに、電とは積乱雲から降る直径5ミリ以上の水の粒のことで、それより小さいものが霰（あられ）と呼ばれ、大きさによって区別されているのだそうです。電は積乱雲の中で上昇と下降をくり返し、溶けては凍り、少しずつ大きくなり、上昇気流より重力が勝ったときに地上に落下してくるといいます。今回はそのタイミングがウチの屋根の上だったようです。降電は5月から6月に多く9月の電は

稀なようですが、積乱雲が発生していても気温が低いと水の粒がでやすいそうです。電の大きさは数mmのものが多く、時に数cmにも成長し、大きいものではゴルフボール大やミカン大にもなることもあるそうです。直径が5cm以上もあるような巨大な電は落下速度が100km/hを超え、農作物は勿論、車や家屋にも単独でも甚大な被害を出すこともあります。日本の記録が残っている中で最大の電は、1917年に埼玉県熊谷市に降った電で、直径約30センチ・重さは何と3.4kgにもなるカボチャほどの電が降ったことも



「働く農機具」

草刈機

農業では害虫発生防止・圃場の維持のために定期的に草刈り作業が行われます。草を刈る場所によって様々な草刈機があります。背負い式のものから歩行式のもの、中には法面専用の草刈機やトラクターにつけるものまでありますよ！



あるそうです。いずれにせよ電が降った際には非常に危険なので、皆さん電にはくれぐれも気を付けましょう。
最近の天気予報では、ゲリラ豪雨や落雷等影響で「命を守るための行動を最優先にしてください」とよくいうようになりました。電による農作物の被害は農家にとつては大変つらいものですが、命があつて農業が出来るということを感じました。



あとかき



今年のだだちゃ豆の収穫作業も終了した。大学生・高専生から収穫・脱さや・選別・袋詰め作業等を手伝ってもらっている。就職や部活など休憩時間やお昼時間に様々な話をする。昼の食事は賄い飯を作つて皆で一緒に食べる。カレーや親子丼等簡単なものになるが、意外と好評なのが野菜の素揚げだ。畑から採りたてのナス・ピーマン・ミョウガを油で揚げたものを醤油で食べるだけのものだ。ごはんは食べ放題。ナスが嫌いだと言っていた輩が大好きに変わっていく。

裏の畑からミョウガをとつてきてと学生に頼んだ。わかりましたとの軽い返事はあつたが、なかなか持つてこない。ミョウガはわかつたが、どこになつていいのか解らなかつたとのこと。花のように思っているものと思ひ込んでいた。地面から出ているとは思ひもよらなかつた。その後、落花生やオクラなどの話でもりあがつた。楽しいひと時だった。（菰）



（菰）